



センターからのご挨拶

小児医療の発展によって従来は助からなかった子どもの多くが助かるようになりました。一方で治療を頑張った“勲章”として胃ろうや気管切開など医療的ケアを日常的に必要とする子どもが増えていきます。しかし医療的ケアがあると保育所・学校に入園入学が難しいといった課題があります。

当センターは熊本県補助事業として2016年12月1日に開所し、医療的ケア児や重症心身障がい児を対象として、(1)相談対応、(2)保育所・学校への入園入学支援、(3)研修会などの人材育成、(4)県・市町村の医療的ケア児支援体制整備の支援を行ってきました。大学病院という名前がついていますが、実地研修、講演会、保育所・学校での支援者会議、市町村での会議など、ほとんどは病院外での業務になります。

2022年9月18日に医療的ケア児支援法が施行され、第9条では保育、第10条では教育、第14条に医療的ケア児支援センターが規定されました。条文の中身はまさに当センターが2016年から行ってきた内容で、熊本県では全国より5年間先行して医療的ケア児支援を行ってきたことになります。

当センターは熊本県から「熊本県医療的ケア児支援センター」の指定を受け、2022年4月1日から医療的ケア児支援センターとしての業務を開始しました。医療的ケア児支援法の趣旨に則って県内45市町村と連携し、熊本県内の医療的ケア児・重症心身障がい児とそのご家族の相談をしっかり受け止め、これまで以上に切れ目のない支援を受けられるよう邁進してまいります。



副センター長 小籾史郎



センターの3本柱

1 相談 小児在宅医療、医療的ケア児、重度心身障がい児に関する一般向け、関係機関向けの相談窓口を設置しています。

2 支援 行政・教育機関と連携して体制を整備し、医療と保育や教育の支援を行います。

3 育成 研修会や実技講習会を実施し小児在宅医療に関係するあらゆる職種の育成を行います。
医師、歯科医師、薬剤師、看護師、相談支援専門員、保育士、ヘルパー、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、教員、行政担当者等



熊本大学病院 小児在宅医療支援センター

〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1

熊本大学病院 外来診療棟4F

関係機関用電話

096-373-5653

FAX/096-373-5449

一般向け相談窓口専用電話

096-373-5448

(9:00~12:00 13:00~17:00)

info@kumamoto-children.net

最新のお知らせを配信しております。



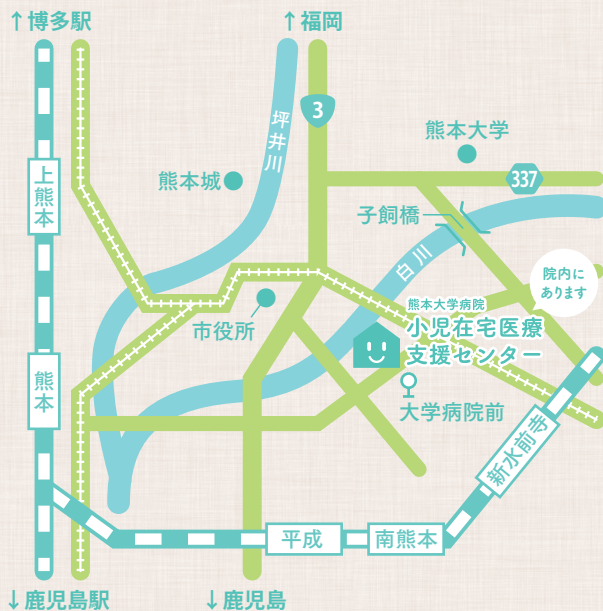
公式ホームページ



小児在宅医療支援センター



@fcb4901a



熊本大学病院 小児在宅医療 支援センター

熊本県医療的ケア児支援センター

相談窓口って どんなところ？

相談

子どもたちが安心して過ごす環境づくりをサポートしています。小児在宅の様々な疑問・質問にお答えいたします。

対象：医療的ケア児・重症心身障がい児

相談例



人工呼吸器の子が入学してくるけど何に気をつけて看護すればいいのかわからない。

学校看護師が人工呼吸器を取り扱うことができるように訪問支援していますよ。



気管切開・胃瘻をしているけど地元の小学校に入学できるかな。

小学校・主治医などと協力し安心して小学校生活が送れるように訪問支援していますよ。



どこに電話しても断られる…幼稚園か保育園どちらでもいいので入園できないかな。

スタッフが行政と連携して入園支援をしていますよ。



医療的ケア児にカフアシストを導入したいけど使い方がよくわからないな。

カフアシストを導入できるように訪問支援していますよ。



医療的ケア児の検討会議に専門的知識のある人に出席してほしい。

スタッフが出席し医療的ケア児が安心して暮らせる社会の体制整備を支援していますよ。



医療的ケア児が入園・入学してくるので学校看護師に医療的ケアの指導してほしい。

学校・園に訪問し医療的ケア児の実技支援をしていますよ。

よくある質問

Q1 どういう流れで支援をお願いすればいいの？

まずは相談窓口にお電話いただき、現状をうかがいます。主治医、支援先、ご家族どなたからの依頼でも構いません。全3者の合意を得て調整をし、訪問支援に入る時期を決めていきます。



医療的ケア児の 保育・教育の支援

支援

行政の担当課とともに保育・教育体制を整備し、幼稚園保育園や学校へスタッフが訪問しケアをしながら支援をすすめてまいります。

スタッフ：医師・保健師・看護師・理学療法士・社会福祉士 計6名

医療的ケア児入園・教育の支援



医療的ケア児に関わる 人材の育成

育成

育成対象

保健師、医療的ケア児に関わる勤務医、訪問診療医、訪問看護師、病院看護師、薬剤師、相談支援専門員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床工学技士、小中学校等の教員・看護師・養護教諭、保育士、社会福祉士など

育成方法

- 当センター主催の各種研修会・実技講習会の開催
- 行政、学校、園、福祉施設などの要望で講習会の開催
- 医学科学生、看護科・養護教諭過程にて実習・講義

講習会に使用する備品

- ・人工呼吸療法シミュレーター
- ・気管切開カニューレ交換人形
- ・パルスオキシメーター
- ・カフアシスト
- ・カブノメーター(CO₂)モニタ
- ・インパルセーター
- ・吸引器
- ・胃ろうシミュレーター
- ・吸引シミュレーター
- ・バギー etc...

この様に実際に人形や器具を使用しながら講習をします。



Q2 大学病院にかかっていなくても良いですか？

大丈夫です。かかっていらっしゃる主治医の先生と小児在宅医療支援センターのスタッフが連携をはかりすすめてまいります。



Q3 熊本市外でも対応できますか？

天草・阿蘇・人吉・荒尾・八代・水俣・玉名・山鹿・菊池・宇土など県内どこでも訪問支援いたします。

